

団欒

作詞・作曲 LIBOO

小鳥が路地で寄り添って暖め合う 冷たくなってきたのに何処吹く風
似た者同士で寄り添って微笑み合う 出逢った季節がぐるぐるまた巡る

流れを急ぐ人達 時代の中で それでも揺るがずにいたい

子供の頃に憧れた穏やかな 団欒の時を共にできたら
大きな家じゃなくていい 向き合って共に笑い合う日々
滲まない円を描こう

週末の夜 立町で酌み交わし合う お疲れ様と言いあって笑い合う

当たり前なのに特別 おつまみは矛盾
解けないままでいいのだよ

酔うとすぐに眠くなる 穏やかな笑顔をずっと守れたら
大きな声じゃなくていい 向き合って言おう いつもありがとう
一緒に帰ろう

花咲く春も 緑の夏も 何度も巡り
色付く秋も 白銀の冬も 流れ行く
いつになるのか生涯の果て いずれたどり着く
あなたに共にいて欲しい

子供の頃に憧れた穏やかな 団欒の時を共にできたら
大きな家じゃなくていい 向き合って共に笑い合う日々
滲まない円を描こう

さぁ一緒に帰ろう

似と者同士が寄り添って生きていく 新たに始まる生活に 火を灯す